

## 第43回初級ゴム技術研修会のご案内

一般財団法人化学物質評価研究機構・社団法人日本ゴム協会関東支部 共催

第43回初級ゴム技術研修会を開催いたします。本研修会は、経験豊かな一流のゴム技術者である先生方の講義と、受講生が実際にゴムを扱う技術実習とを組み合わせたユニークな内容となっており、本年度43回目を迎えます。毎年多くの新人ゴム技術者や営業部門、また、研究・開発をご担当の皆様と幅広い業種の方々に参加いただいております。

本年も、多数のご参加をお待ちしています。

研修期間 平成24年5月7日（月）から6月29日（金）まで  
毎週3日（月、水、金）17時00分～20時00分

会 場 一般財団法人化学物質評価研究機構 東京事業所



募集人数 50名（定員になり次第、締め切ります。）

受講料 147,000円（消費税込）

ただし、受講者本人が日本ゴム協会会員であるか、又は、所属会社が化学物質評価研究機構賛助会員である場合は、136,500円（消費税込）

申込期間 平成24年1月5日～4月30日

申込方法 所定の申込書に必要事項を記入の上、4月30日までに申込先までFAX又は郵送ください。

申込書はこちらからダウンロードできます。（→[Word版](#) [PDF版](#)

請求書をお送りいたしますので、受講料を次の振込先にご入金ください。

振込先 みずほ銀行 押上支店 普通預金口座 No.533129

口座名義人 一般財団法人化学物質評価研究機構

申込先 〒345-0043

埼玉県北葛飾郡杉戸町下高野1600番地

一般財団法人化学物質評価研究機構 東京事業所 初級ゴム技術研修会運営委員会

TEL 0480(37)2601 FAX 0480(37)2521

その他 基礎テキストとして「新版 ゴム技術の基礎」（日本ゴム協会編）、「ゴム・プラスチック材料のトラブルと対策」（大武義人著）、「製品中の異物混入とその対策」を配布いたします。さらに技術実習時には「ゴム物性試験」、「ゴム分析試験」の職員手作りテキストを配布いたします。

申込書の郵送を希望される方は、電話、ファックス等で申込先までご連絡いただければ、送付いたします。

## 研修日程表（案）

月 日		科目	講義 時間	実習 時間	講 師
5月 7日	(月)	原料ゴム	2.5		伊藤眞義(東京理科大学)
9日	(水)	配合剤(補強剤, 充填剤)	3		大尾雅義(横浜ゴム株)
11日	(金)	配合剤(有機薬品, その他)	3		有我 望(大内新興化学工業株)
14日	(月)	配合設計のたて方	3		菊池 裕(株興国ゴム技術研究所)
16日	(水)	ゴムの加工	3		水本清文(株永島パッキング製作所)
18日	(金)	ラテックスの基本と応用	3		大武義人(化学物質評価研究機構)
		ポリマー選択概論/PL法と寿命評価			
21日	(月)	ゴム製品の事故原因調査手法	3		大武義人(化学物質評価研究機構)
23日	(水)	ゴム基本特性	3		百武健一郎(化学物質評価研究機構)
25日	(金)	ゴム試験法Ⅰ (物性試験)	3		伊東寛文(化学物質評価研究機構)
28日	(月)	ゴム試験法Ⅱ (化学分析試験)			鈴木裕次(化学物質評価研究機構)
30日	(水)	ゴムの加工、物性試験		3	化学物質評価研究機構職員
6月 1日	(金)	及び化学分析の実習		3	
4日	(月)	①ゴムの配合設計		3	
6日	(水)	②ゴムの成形加工		3	
8日	(金)	③未加硫ゴム物性		3	
11日	(月)	④加硫ゴム物性		3	
13日	(水)	⑤ウェザー・オゾン試験		3	
15日	(金)	⑥老化、浸せき		3	
18日	(月)	⑦反発弾性、低温試験		3	
20日	(水)	⑧電気試験、燃焼試験		3	
22日	(金)	⑨ポリマー定性		3	
25日	(月)	⑩組成分析		3	
27日	(水)	⑪配合剤の分析		3	
29日	(金)	⑫機器分析 (FT-IR、SEM、EPMA 等々)		3	
29日	(金)	修了証授与式・懇親会			

(注) 講義及び実習について日程、科目、講師等の変更がある場合もありますので、あらかじめご了承ください。